
あの歌に物語を付けてみた。

夢人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの歌に物語を付けてみた。

【Nコード】

N7130S

【作者名】

夢人

【あらすじ】

「あの曲に物語を付けてみた。」
その題名の通り
いろんな曲に物語をつけてみました。その曲と一緒に読んでいただくと分かりやすいです (^-^)

第1回 桜ノ雨 ～前編～（前書き）

今回はボーカーロイドの初音ミクが歌う、「桜ノ雨」です。ボカロが嫌いな方でも気に入られると思います。

第1回 桜ノ雨 前編

弥生〓三月、今はすっかり桜色に染め上げられたこの町。窓を開けるとフワリと桜の香りが辺りに立ち込める、私にとつて一番幸せな月とこの町。

中学三年生、中学生活、義務教育。どれにしてもこれが最後の春だ。そんなもう二度と来ない春をこの町で過せる。そんな日常からしたら当たり前前のことだが、卒業までの目まぐるしく移り変わる一週間の間に私は変わった。

土ぼこりをあげて競い合った校庭、窮屈で着崩した制服、机の上のラクガキ。どれもこれも今となつては懐かしい物でしかない。それでも私たちの証。

そんなこんなで迎えた卒業式の前日。授業中、不意に涙が込み上げそうになった。もうこの先生たちもおさらばだ。いつかの私なら泣いて喜んでいるだろう。でも今の私の涙は「お別れ」の涙だろう。慌てて目を擦る。辺りをこっそり窺うと案外、私だけではないよう。何人かの女子は目がウルウルしてとても面白かった。

十人十色に輝いていた日々。白紙の答辞には伝えきれないほどの思いの数だけ涙が滲んだ。幼さから傷つけあった日々あれから少しくらい大人になれたのかな？

そういえば、とあることを思い出した。私の思いは届いたのだろうか？一年半かけてゆっくり、慎重に書いた初めての恋文^{ラブレター}。それを下駄箱の中にそっと置き、願った。

オモイガトドキマスヨウニ

それつきりうんともすんとも言わなかった。そう思った刹那、その張本人が現れた。バッチリ目が合ってしまった。無表情だった。ツカツカとこっちに歩いてくるが動けない。間が10センチしかないのではというほど近づくと私はその人を見上げる形

第1回 桜ノ雨 ～前編～ (後書き)

次回は後編です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7130s/>

あの歌に物語を付けてみた。

2011年10月7日17時22分発行